

桜の里便り



令和2年度 第7号

危機感をもちつつも、相手を思いやった行動を！

校長 茂木 徹

11月20日(金)勤務が終わり、帰路の途中で耳にした知らせに衝撃が走りました。市内小学校で新型コロナウイルス感染症が発生したという内容でした。不安を胸に帰宅し、情報収集に努めるとともに、日吉小学校における対応策を早急に決める必要があると考えました。翌日から勤労感謝の日を含めた三連休でしたが、連休後の対策を決めておく必要があることから何人かの職員に休日中の出勤をお願いしました。子どもたちのいない静かな学校に集まった職員は、緊張感の高まる中、真剣に知恵を出し合いました。

このとき、学校としての対策を決める上で、私が大事にした考え方があります。どれも当たり前のことですが、この基本的な考え方のもと、児童や教職員の健康と安全を守るために「誰が、何を、いつまで、どのようにする」かを話し合うと

【出発点となる基本的な考え方】

- ◎子ども、教職員、保護者等の健康と安全を第一に考える。
- ◎目の前の状況を踏まえ、今、最善と思えることをする。
- ◎相手意識をもって、今、自分たちにできることをする。

【対応を進める上で留意する考え方】

- 状況の変化を見取り、節目を捉えて検証する。
- 必要に応じて取組内容を変える。
- 取組は、持続可能な形を工夫する。

ともに、「今、できることを明確にする」、「相手意識をもった対策を考える」ことを大切にしました。

「今、できること」とは、すぐにやるべきことです。三密回避を図るため、人数の多い学年を特別教室に移動し、間隔を保てるようにする。体調不良者の早期発見のため、全児童・教職員に対する毎朝の検温と記録をする。感染防止のため、消毒・手洗い場面を視覚化し、徹底することなどです。また、校外学習や外部講師を招いた活動の見合わせや、教職員の出張等を控えることなども含め、「今、最善と考えること」を即座に決めて実行することにしました。このときの対策は、今も継続しつつ感染防止に努めています。

このような取組と並行し、私が大切にすることが「相手意識をもって、今、自分たちができることをする」ことです。その一つとして、荒浜小学校が再開することを受け、日吉小学校の子どもたちにできることはないか考えてもらいました。児童会の子どもたちと相談し、「自分たちにできることはないか」全校に提案してもらいました。その提案を受け、全ての学年で話し合い、励ましのメッセージを送ることを決めました。まさに「相手意識」をもって何か行動を起こそうとする姿です。私は、子どもたちのこの決定を心から嬉しく思いました。「荒浜小の子どもたちが不安に思っているかもしれない。休校で辛い思いをしたと思う。励ましのメッセージが届けば元気が出るかもしれない。」こんな子どもたちの温かい思いにふれ、心が熱くなりました。世の中では、新型コロナウイルスによる誹謗中傷が問題となっています。子どもたちの行動は、それと対極のことだと思えます。まさに相手を思いやった尊い行為だと感じています。

荒浜小学校への応援メッセージ



1年生



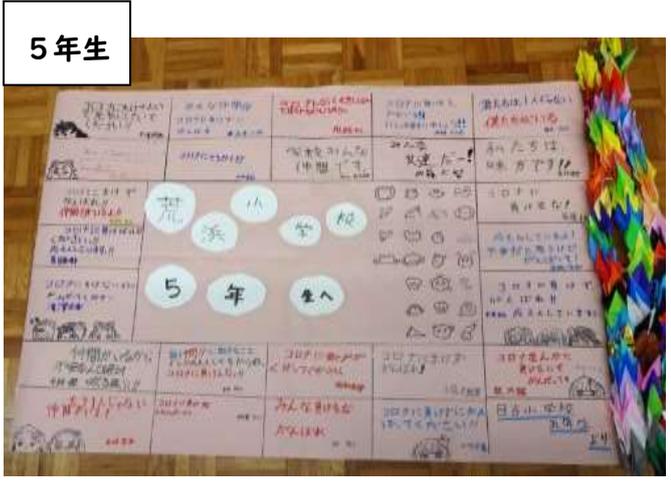
2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

修学旅行（会津若松方面）

これまで6年生の修学旅行は、世田谷区立桜小学校との交流を続けることから東京方面に行っておりました。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から方面と時期を見直すとともに、桜プロジェクトとの関連を図るため、11月12日(木)、13日(金)に福島県会津若松方面へ出掛けました。

1日目は、赤べこ絵付け体験や鶴ヶ城・飯盛山見学、会津若松市では4班に分かれての班別活動を行いました。2日目は、歴史民俗資料館の平田館長さんから三春の滝桜についての話を聞いたり、天然記念物である滝桜の見学をしたりしました。昼食は班別で喜多方ラーメンを食べました。

子どもたちは、会津の歴史を学び、文化に触れ、食を堪能し、充実した2日間を過ごしました。



赤べこ絵付け体験 会津若松市内班別行動

2日間の修学旅行で様々なことを学びました。1日目の赤べこの絵付けは初体験だったので、最初は何を描いたらよいか迷いましたが、うまく出来てよかったです。また、鶴ヶ城見学では、五層からなる城の天守閣で見た市街地や紅葉の景色は忘れられません。

2日目の三春の滝桜見学では、館長さんの話から「昔のお殿様が立派な桜を保護したこと」「今も地元の人に愛されていること」を学びました。実際に見た滝桜は、私の身長は何倍もあり、その大きさに感動しました。

この2日間は、小学校生活最高の思い出になりました。

6年 児童



鶴ヶ城見学



歴史民俗資料館訪問・三春の滝桜見学

旧体育館の解体工事がほぼ終わりました

7月から本格的に始まった旧体育館・食堂棟の解体工事が12月でほぼ終了しました。これから整地が行われ、跡地は駐車場や教材園になる予定です。今後の工事は、令和3年度の事業となります。



解体前の旧食堂棟 R2.7.2



重機での解体が進む食堂棟 R2.10.2



半分ほど取り壊された旧体育館 R2.10.23



建物の解体がほぼ完了 R2.11.6



基礎部分の撤去 R2.11.27



基礎部分の撤去が完了 R2.12.11

アルミ缶回収を続けています！ ご協力ありがとうございます

昨年12月から、さくら児童会の呼び掛けで、アルミ缶回収を行っています。収益金を桜プロジェクトの資金にするためです。地域や保護者の皆様のご協力により、この1年間でたくさんのアルミ缶が集まりました。これまでの回収量の合計は**246kg**、収益金の合計は**15,520円**となりました。収益金は先行植樹、第1期植樹に有効活用させていただきました。なお、来年度の第2期植樹に向けて、回収を継続しておりますので、続けてご協力をお願いいたします。



荷台いっぱいアルミ缶

【アルミ缶の回収状況報告】

R1 12月～R2 3月

回収量 60 kg

収益金 3,600円

(1kg当たり60円)

R2 4月～7月

回収量 110 kg

収益金 6,600円

(1kg当たり60円)

R2 8月～11月

回収量 76 kg

収益金 5,320円

(1kg当たり70円)